

共異体のコスモグラフィ

第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に向けて



下道基行 [津波石] (2015-)

12月14日（金） 17:45 - 20:15 金沢美術工芸大学 第1教室

来年のヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表から3名をお招きして、特別講義を行います。 *学部生、学外のかたも聴講できます。

講師プロフィール

下道基行 (したみちもとゆき)：アーティスト。1978年岡山県生まれ。2016年より国立民族学博物館客員研究員。日本各地に残る軍事施設跡を撮影した「戦争のかたち」シリーズや、日本の植民地時代の遺構として残る鳥居を撮影した「torii」シリーズなど、旅やフィールドワークをベースにした制作活動で知られる。主な個展に「風景に耳を澄ますこと」（黒部市美術館）などがある。

石倉敏明 (いしくらとしあき)：芸術人類学・神話学者。1974年東京都生まれ。秋田公立美術大学アーツ & ルーツ専攻、同大学院複合芸術研究科准教授。日本列島や環太平洋地域の「山の女神」についての比較神話研究、民族芸術・現代芸術作品についても多様な研究を行っている。共編著に『Lexicon 現代人類学』（2018、以文社）『野生めぐり』（2015、淡交社）などがある。

服部浩之 (はっとりひろゆき)：キュレーター。1978年愛知県生まれ。国際芸術センター青森学芸員を経て、秋田公立美術大学アーツ & ルーツ専攻、同大学院複合芸術研究科准教授。国内外でアートスペースを展開するなど日常生活と公共空間の創造的関係を探求。主な企画に「Media/Art Kitchen -Reality Distortion Field」（インドネシア国立美術館、他）がある。あいちトリエンナーレ2016キュレーター。

問い合わせ：彫刻専攻芝山まで

第一部 「旅と制作」 下道基行

第二部 「回帰する神話と歴史」 石倉敏明

第三部 「共異体のコスモグラフィ」 服部浩之 + 下道基行・石倉敏明